

立川市

R8年5月発行

認知症サポーター養成講座
ステップアップ
連絡会通信

Vol. 26

澄み渡る晴天で青葉がまぶしい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今号も、認知症サポーターに関連する活動やイベントについて、ご報告と今後の予定をお知らせします。

活動連絡会のご案内

日時: 令和8年6月23日(火) 10:00~12:00

場所: 立川市役所 208、209 会議室

テーマ: 若年性認知症の基本的理解

講師: 東京都多摩若年性認知症総合支援センター
センター長 来島みのり氏

参加希望の方は下記へお申し込みください。

※資料作成の都合、**6月16日まで**にお願いします。

(お申込み先) 立川市高齢政策課認知症対策係

☎ 523-2111 内線 1482



2月19日 活動連絡会のご報告



去る2月19日、立川市役所で、今年度3回目の活動連絡会が開催され、13名の方が参加されました。今回のテーマは、『ペットと安心して暮らし続けるための地域づくり』。一般社団法人ワンウェルフェアの渡辺和弘氏を講師にお招きしました。

ワンウェルフェアは「人と動物の幸せはつながっている」の意味。一般社団法人ワンウェルフェアは、多頭飼育崩壊をはじめとした人と動物の問題について動物愛護職と福祉職が集まって考える会です。



前半は講義でペット飼育の基礎知識から、ペットと一緒にの老い支度と備え、多頭飼育崩壊、災害時の対策、飼い主の入院に備える等々人もペットも不幸にならないためにはどのようなことを意識していればよいのかを学びました。

感想



もしもの時に備えて、飼い主のエンディングノートの他に、「飼い主さんとペットの覚書」も書いておくことが大切だと思った。



飼い主やペットの異変に気が付いたときは動物関係者につなげることも大切だと学んだ。



グループワーク

後半のグループワークでは、猫の多頭飼育により飼育崩壊が疑われる70代と40代の母子世帯の事例を用いて、「人の状況」「動物の状況」「問題点」「問題点の背景・要因」をそれぞれ事例の情報を分類し、ディスカッションしました。

動物を飼っている事は精神的に良いと思うが、多頭になってしまうと大変な事になる。
ボランティアとして回りの状況をよく見ることもこれから必要と思った。



ペットを飼う人が年老いたとき、死亡した後について考えて飼っていないと思うので切実だと感じた。



人間・動物、老いによって同じことが起こり、エンディングノートが必要、これは大切だと思う。



オレンジドア@たちかわ（チームオレンジ） へのご協力のお願い

日時：令和8年7月25日（土）
午前9時30分～11時00分
（スタッフは9時集合、12時まで）

場所：ワйм貸会議室
立川市曙町1-15-1 谷ビル3階

現在8名ほどの修了生が、運営の協カスタッフとして携わってくれています。
当事者の方のテーブルと、ご家族の方のテーブル。代表の鴨下さんを中心に、それぞれにとって、なくてはならない共感の場となっています。

話すことで、軽くなる心がある

オレンジドア @たちかわ

忘れても 安心・安全
同じ立場の仲間と話せる

日付：5月16日（土） 7月25日（土）
※奇数月 第4土曜日

時間：9時半～11時
場所：ワйм貸会議室（下層）

無理せず欠席しても大丈夫
感じていること 共有・共感

ワйм貸会議室 立川
立川市曙町 1-15-1 谷ビル3階

～オレンジドアとは？～
「オレンジドア」は認知症診断前後の不安や悩みを推し進めるご本人のための相談窓口です。「ドア」には、新しい一歩を踏み出す入り口という意味が込められています（裏面に、代表からのコメントがあります！）

主催：オレンジたち チームオレンジ実行委員会

- ワйм貸会議室 立川 アクセス 多摩モノレール立川北駅南口からは
ペDESTリアンデッキ右手の階段をみずほ銀行側 へ下り角を右へ 100m 進み、
交差点を渡ったビル（谷ビル）3階です。



【 お問合せ先 】

立川市高齢政策課認知症対策係 ☎ 523-2111 内線 1482
認知症地域支援推進員

南部西ふじみ地域包括支援センター ☎ 540-0311

南部東はごろも地域包括支援センター ☎ 523-5612

中部たかまつ地域包括支援センター ☎ 540-2031

北部東わかば地域包括支援センター ☎ 538-1221

北部中さいわい地域包括支援センター ☎ 538-2339

北部西かみすな地域包括支援センター ☎ 536-9910